

町政を問う!!

9 議員が質問・提案を

教育 啓発

学力テストどう活かす

小中連携し取り組んでいく



おかもと かつや 議員

いては2・4ポイント上回る結果となった。

中学校は0・6ポイントから2・6ポイント全国平均を上回ったが、情報の傾向、読み取ってデータを活用する力が弱いという結果だ。

そのためには、

問 今年度の学力テストの結果を基に、教育委員会・研究所の分析と、今後の課題について問う。また、家庭との連携をどう進めていくか。

①授業の方向性を形式的理解から意味的理解への転換を図って、未知の状況で使える知識、技能を習得させる。

②特徴や傾向を読み取り、分類、整理し問題解決に生かす。

③単元計画の見直し、結果を求める授業から結果を求めて解釈する授業自分の考えを表現するだけではなく、他者の考えや学んだ知識を基に再構築していく。

答 畦地 教育長
知識に関するA問題と、活用に関するB問題、そして今年度は3年に一回の理科も実施された。小学校については、国語、算数とも0・4ポイントから1ポイント全国平均を下回り、理科につ

これらを小中連携し取



大方中学校の玄関付近

り組んでいく。

また、家庭は教育の原点であると訴えてきた。家庭の役割は非常に重要であり、教育行政がしっかりと下支えるために、

①家庭学習の習慣として学年×10分+10分の家庭学習の時間をしっかりとっていく。

②基本的な生活習慣、正しい生活リズムの確立。今の子ども達は夜型になってきている。生活リズムを2時間早める取り組み。これらで家庭において基本的な生活習慣の定着を図っていく。

放課後子ども教室では、子どもの学びの場の時間の確保などお願いしている。

部落差別

実態調査はいつから

まだ検討段階

問 部落差別解消推進法が制定され、約2年が過ぎようとしているが、部落の実態調査はどうなっているか。

いての調査に関する照会が文書で届いている。その内容は、「調査の内容や手法等を検討しているが、地方公共団体において過去に実施した同和問題についての調査の資料を参考として収集したいと考えている。

平成19年度以降実施した調査の有無、及び該当する調査があれば、報告してほしい」とのことだったので、報告している。

今後も、高知地方事務局に状況についての問い合わせを行う予定なので、もししばらく待って頂きたい。

住宅に関しても、町民館と一緒に部落の実態調査について、現在協議を進めている。また、今後も、その他の事例でも、町民館と一緒に実施していくことになる。

【その他の質問】
・公立高校の地域人材育成について

答 矢野 地域住民課長
第6条に規定する部落差別の実態に係る調査に關してのことだと思うが、平成29年2月1日付で、法務省人権擁護局から市町村人権擁護チーム担当課あてに、同和問題につ